

平成22年度 第22回スポーツハウス杯釧路ジュニアユースフットサル大会  
兼 第22回 全道ジュニアユース(U-15)フットサル大会釧路地区予選  
開 催 要 項

1. 主 旨 日本フットサル界の将来を担うユースジュニアユース(15歳以下)年代のフットサル技術の向上と健全な心身の育成を図ることを目的とし、本大会を実施する。併せて、全日本ユース(U-15)フットサル大会北海道予選大会釧路地区予選を兼ねる。
  2. 名 称 平成22年度 第22回スポーツハウス杯釧路ジュニアユースフットサル大会  
兼 第22回全道ジュニアユース(U-15)フットサル大会釧路地区予選
  3. 主 催 釧路地区サッカー協会
  4. 共 催 釧路地区中体連
  5. 主 管 釧路地区サッカー協会第3種委員会
  6. 後 援 釧路市教育委員会
  7. 期 日 平成22年11月6日(土)、7日(日)
  8. 会 場 釧路市立桜が丘中学校体育館、釧路市立青陵中学校体育館
  9. 参 加 資 格 (1) チーム 本年度(財)日本サッカー協会のフットサル個人登録及び本大会フットサル登録を行った、15歳未満(但し、中学校在学中の選手はこの年齢制限を摘要しなし。)の選手により構成されたチームであること。ただし、チームの監督は、チームを掌握し、責任を負うことのできる20歳以上の者であること、次のいずれかのチームであること。ただし、(ア)と(イ)の選手が混合するチームの出場は認めないものとする。  
(ア) 本年度における(財)日本サッカー協会の第3種登録したチーム及びクラブ申請をしたチーム。  
(イ) 第3種登録及びクラブ申請していない中学生の選手だけで構成されたチーム。  
本大会に合同チームとして参加する場合、次の条件を満たしている場合に限り、認めることとする。  
(ア) 合同するチームの選手は、開催要項における参加資格を満たしていること。  
(イ) 極端な勝利至上主義を目的とする合同チームではないこと。  
(ウ) 合同チームとしての参加を地区協会の3種委員長及びフットサル委員長の承諾を受けること。  
フットサル登録料(3,000円)を釧路地区協会に納入完了していること。  
(2) 選 手 第3種登録したチーム及びクラブ申請したチームの選手は、本大会の初日初日より6カ月以内に移籍又は登録抹消した場合は、居住地変更による移籍を除き、出場することが出来ない。  
他のチームと二重に登録されていないこと。  
親権者の承諾を受けたものであること。  
連続の試合に耐えうる健康体であること。  
(3) 外国籍選手 1チームあたり4名まで登録でき、1試合2名まで出場できる。ただし、当該外国籍選手は、IFTC(国際フットサル移籍証明書)により移籍が完了し出入国管理および難民認定法に定める在留資格を取得しているものとする。
10. 競技会規定 本年度(財)日本サッカー協会制定の「フットサル競技規則」による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。
- (1) 使用球は、フットサル用ボールとする。
  - (2) 交代要員の数は、15名以内とする。
  - (3) ベンチに入ることのできる人数は、18名以内(交代要員15名以内、役員3名以内)とする。
  - (4) 競技者のシューズは、靴底の接地面が艶色もしくは白色のフットサル用シューズまたは体育館用シューズのみ使用可能とする。
  - (5) 試合時間は20分(前後半10分、ハーフタイム2分)とし、すべてランニングタイムとする。
  - (6) 決勝トーナメントにおいて勝敗が決定しない時は、3人によるPK方式により勝敗を決定する。ただし、決勝戦では10分(前後半各5分)のランニングタイムによる延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により優勝チームを決定する。

- (7) タイムアウトは適用しない。
- (8) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (9) 予選リーグにおける警告1回は、決勝トーナメントには持ち越さない。
- (10) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置においては大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
9. 競技方法
- (1) 予選リーグのグループ数及びグループチーム数は監督会議で決定する。
- (2) 決勝トーナメントは、予選各グループから上位8チームのトーナメント方式で行う。上位8チームの選出方法は監督会議で決定する。
- (3) リーグ戦の勝点は、勝-3、引-1、負-0とする。
- (4) リーグ戦における棄権試合(不正が確認された場合も含む)は、0対5とする。
- (5) リーグ戦の順位は、勝点、得失点差、総得点、該当チーム対戦成績の順によって決定する。なお、すべて同じ時には、リーグ戦終了後、PK方式(1チーム5名による5本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)で決定する。
10. 参加申込
- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名、役員4名とする。
- (2) 参加申込書は、所定の申込書(Excel)にて必要事項を記入し、期日までに申込先(A)、プログラム用メンバー表を(B)宛にE-mailで送付すること。
- (3) 参加料6,000円は監督会議時に(C)へ納入すること。
- (4) 申込期日 平成22年10月21日(木) 17:00必着
- (5) 申込先(A) 釧路市立桜が丘中学校 宮崎 芳隆  
(B) 釧路市立大楽毛中学校 中町 正樹  
(C) 釧路市立鳥取西中学校 菅野 功一
11. 帯同審判
- (1) 参加チームは、4級以上の公認フットサル審判員を1名帯同させること。
- (2) 帯同審判員は、役員(監督を含む)と兼ねることができる。
12. メンバー提出用紙
- メンバー提出用紙は、フットサル選手証と合わせて試合開始30分前までに試合会場大会本部へ提出する。
13. ユニフォーム
- (1) (財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を遵守し、正副2着携行すること。
- (2) ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)は正のほかに副として正と色彩が異なり判明しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること(フィールドプレイヤー、ゴールキーパーとも)。
- (3) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。
- (4) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付すること。
14. 組合せ
- 監督会議において決定する。
15. 監督会議
- (1) 日時 平成22年10月22日(金) 19:00~
- (2) 会場 釧路市立北中学校 1F 会議室
17. 開会式
- 監督会議と兼ねる。
18. 閉会式
- 決勝戦終了後会場で行う。
19. 負傷及び事故の責任
- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
- (2) 選手は、スポーツ傷害保険または、それに準じた保険に加入していること。
20. その他
- (1) 参加するチームはフットサル選手証及び大会登録票を必ず持参し、掲示すること。なお、選手証が届いていない場合は、JFA公式サイトのkickffより仮選手証をダウンロードし、個人登録料の払込受領書(または写し)とともに持参すること。持参がない選手は、試合の出場を認めないことがある。
- (2) 選手の資格に関して、その他、不都合な行為があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (3) 交代要員は、交代の直前を除き、ユニフォームの色と異なるピブスを着用すること。
- (4) 優勝のチームには、平成22年12月11日(土)~12月12日(日)苫小牧市で開催される第16回全日本ユース(U-15)フットサル大会北海道予選への参加を義務付ける。